

第1回 東京政策選手権

公益社団法人東京青年会議所
政治行政政策室

開催概要

1. 開催に至る背景

日本の未来を担う高校生が、自分たちの声で社会をより良くしていくためには、社会課題を知り、自らの考えを発信し、行動に移す体験が欠かせません。しかし、学校教育の中では、政治や行政を学ぶ機会があっても、実際に社会とつながり、意見を形にする場はまだ十分とは言えません。

そこで本コンテストでは、東京都内の高校生が地域の課題を見つめ、解決に向けた政策を提案することで、「社会は自分たちの手で動かせる」という実感を得る場を提供します。

2. 共催／後援／協力

共 催：学生団体パルテラ（早稲田大学学生団体）

後 援：東京都教育委員会

協 力：東京都選挙管理委員会

株式会社スパイラル

公益社団法人日本青年会議所 主権者教育推進委員会

公益社団法人日本青年会議所 関東地区協議会 主権者意識向上委員会

3. 開催時期

内容	時期
ガイドブック公開	2/20～
エントリー	4/1～5/8
書類選考	5/8～5/15
西東京ブロック予選	5/25 18:30～
東東京ブロック予選	5/26 18:30～
決勝大会	6/22 18:30～

※各会場への交通費等は実費負担となります

※書類審査を通過された方は、指定様式によるパワーポイント資料の作成が必要となります

4. 予選大会ブロック

分類	東京 23 区詳細
西東京ブロック	新宿区、渋谷区、世田谷区、杉並区、中野区、練馬区、豊島区、文京区、目黒区、板橋区、北区
東東京ブロック	千代田区、中央区、港区、台東区、墨田区、江東区、荒川区、足立区、葛飾区、江戸川区、品川区、大田区

5. 募集期間

2026 年 4 月 1 日 (水)～ 2026 年 5 月 8 日(金)

6. 募集対象

東京都 23 区に通学する高校生

7. 募集政策内容

テーマ：「デジタルを活用した政策提言」

① テーマ設定の背景

皆さんは、この東京という大都市で学び、生活する「当事者」です。
しかし日々の生活の中で、「都政」や「地域の課題」が自分たちとどのようにつながっているのかを実感しにくい場面も多いのではないのでしょうか。
「満員電車をもっと快適にできないか」
「行政手続きがもっと簡単にならないか」
「防災や教育にデジタルを活かせないか」
こうした日常の中で感じる疑問や違和感こそが、東京の未来をより良くするための大切な「声」です。

本コンテストでは、デジタル技術を活用することで社会課題をどのように解決できるのかを考え、高校生ならではの視点で政策として提案することを目的としています。

② 募集する政策アイデアについて

本コンテストは、「もし自分が東京のリーダーだったら」「デジタルの力で東京をどう変えたいか」という視点で、未来の東京を描く政策コンテストです。

通学、防災、環境、教育、行政手続き、子育て支援、ジェンダー平等、地域コミュニティなど、身近な社会課題をテーマに、デジタルを活用した具体的な政策提言を行ってください。

大人の常識や前例にとらわれる必要はありません。

皆さん自身の率直な「声」を、東京の未来をつくる「政策」として形にしてください。

8. エントリー方法および政策提出方法

エントリー期間中に、下記及びチラシ掲載のQRコードからGoogleフォームにアクセスし、必要事項を入力してください。エントリー完了後、登録されたメールアドレス宛にブロック大会の詳細や当日までの流れをご案内いたします。

<https://forms.gle/kavWuyn8qud89aLh9>

- ・出場人数は最小2名、最大5名です。
- ・「※」は必須項目です。

【政策シート内容】 カッコ内は文字数の目安です。

- ・政策タイトル (50文字)
- ・政策の概要 (400文字)
- ・政策を思いついた背景・きっかけ (800文字)
- ・実現する社会 (1200文字)
- ・自由利用シート (任意)

9. 大会概要と審査

① 書類審査

【書類審査通過チーム数】

西東京：4チーム

東東京：4チーム

合計8チーム

評価の観点	評価の内容	点数配分	審査基準
A. 基礎	1. 提出形式・枚数・項目等、指定を順守しているか 2. データや引用における出所を明記しているか 3. 読解に支障をきたすレベルの誤字脱字・表記ミスがないか	-	ノックアウト要素 (どれか一つでも満たしていない場合、採点対象外)
B. 主張の論理性	1. 主張と根拠が一貫しており、論理的に構成されているか 2. 根拠を裏付ける事例や取り組みを、適切なデータを用いて調査・分析しているか	6点 (3点×2)	3点：内容の広範囲で満たしている。 2点：一部不足があるが、概ね満たしている(目安5割~8割程度)
C. 東京の社会課題の理解と分析	1. 東京固有の課題の背景や現状を具体的に説明できているか 2. データや事例を用いて、説得力のある分析ができているか	6点 (3点×2)	1点：不足している部分が目出し、満たしているとはいえない(目安5割未満)
D. 施策の構想力と実現性	1. 提案が課題に対して有効であり実現可能性があるか 2. 関係者(行政・企業・市民など)との連携が想定されているか 3. 東京を起点として、全国展開の可能性があるか	9点 (3点×3)	
E. 訴求力	1. メッセージが明確で、構成や資料が分かりやすいか 2. 聞き手・読み手に共感や行動を促しているか 3. 他にないユニークな視点やアイデアがあるか	9点 (3点×3)	

② 予選大会（ブロック別）

地区	場所	日時
西東京	新宿文化センター （東京都新宿区新宿 6-14-1）	2026年5月25日(月) 18:30-20:00
東東京	ワテラス コモンホール （東京都千代田区神田淡路町 2 丁目 101 番地）	2026年5月26日(火) 18:30-20:00

※プレゼンテーション時間：1 チーム 6 分

※当日の発表をもとに、インターネット投票を行います

③ 決勝大会

開催場所：東京大学 安田講堂

東京都文京区本郷 7 丁目 3-1

開催時期：2026年6月22日（月）18:30～

最優秀賞・優秀賞に選出されたチームは、政策提言の機会が与えられます。

10. お問い合わせ先

公益社団法人 東京青年会議所

政治行政政策室

理事：伊藤 彬史

室長補佐：松原 元

室長補佐：岡崎 良和

メール：tjc.seijigyousei.0828@gmail.com